

少しずつレベルアップしよう！

防災訓練計画に係る事例 発表・意見交換会

日時 令和6年11月10日（日）10時～
場所 サンライフ甲西2階

◎本日のねらい

市内において防災訓練を実施していない区があることから、防災士が訓練計画作成の知識や情報を得ることにより、自地域での実践を支援し、市民の防災意識の向上を目指す。

目標 市内全地域での防災訓練の毎年実施

◎ 本日の内容

1. 防災訓練について

2. グループワーク

各区（自治会）の訓練事例説明と意見交換

1団体10分（説明5分＋質疑5分）×8団体

3. まとめ

◎今日9月1日は防災の日です

では、湖南省防災の日はいつでしょうか？

10月9日 湖南省防災の日を定める条例

第1条 この条例は、**宝暦6年(1756年)10月9日(旧暦9月16日)**に発生した大規模な土砂災害である「**妙感寺流れ**」を風化することなく後世の市民に継承し、災害に対する備えを充実、強化し、もって安全で安心なまちづくりを推進するため、湖南省防災の日を定める。

◎ 災害の種類について

南海トラフ地震臨時情報
8 / 9 に発表

- 地震災害

事前の予測が難しく、被害も広域に影響がおよぶ

- 風水害（台風・ゲリラ豪雨・竜巻）

事前予測が比較的可能、被害範囲も限定的

急なゲリラ豪雨や線状降水帯も

- 雪害（大雪）

事前予測が可能、被害範囲も限定的

- 火災、火山の噴火・原子力災害など

火災は身近に起こりうる災害

◎避難について

災害種別によって避難方法と避難場所は決定的に違います。

地域で訓練を実施する際は、避難所や避難場所をはっきりすみ分けする必要があります。

特に地震時の避難場所としていた施設が、風水害時に浸水リスクがあって危険な施設である可能性もある。

指定避難所や緊急避難場所を一括りに避難所としない。

避難所一覧

指定避難所一覧

No	名称	電話 (0748)	FAX (0748)	収容人数 (人)	所在地	対象地区
1	三雲児童館	72-2089	72-2089	134	三雲1126番地	三雲東小学校区 (三雲区、妙徳寺区)
2	三雲くじら保育園	72-1385	72-1385	227	三雲1168番地	
3	三雲まちづくりセンター	72-4532	71-2636	115	三雲1186番地	
4	みくも村風人権福祉市民交流センター	72-3166	72-3301	88	三雲1186番地	
5	三雲東小学校	72-4616	72-8611	539	三雲3100番地	
6	保健センター	72-4008	72-1481	77	豊見588番地	三雲小学校区 (吉永区、豊見区、針区、ルモン甲西区、中央区、平松区、柘子袋区)
7	三雲小学校	72-0025	72-6432	612	豊見1857番地	
8	豊見会館	72-3083	72-3083	63	豊見1505番地1	
9	甲西高等学校 ※1	72-3611	72-5549	463	針1番地	
10	甲西中学校 ※2	72-1138	72-3484	876	針284番地	
11	平松こども園	72-0390	72-0390	236	平松268番地	
12	教育サポートセンター	72-4810	72-4810	114	柘子袋557番地2	
13	柘子袋まちづくりセンター	71-2560	71-2561	123	柘子袋860番地1	
14	柘子袋会館	72-2993	72-2993	28	柘子袋東二丁目6番18号 ※3	
15	甲西文化ホール	72-2133	72-7305	249	中央五丁目5番地	
16	石部コミュニティセンター	77-4559	77-4683	55	石部東七丁目6番1号	
17	石部保健センター	77-7110	77-7019	140	石部中央一丁目1番3号	
18	石部文化ホール	77-8657	77-0015	361	石部中央一丁目2番3号	
19	石部経遊戯場	77-7040	-	81	石部中央一丁目1番5号	
20	石部小学校	77-2030	77-6733	535	石部中央二丁目3番1号	
21	石部保育園	77-2073	77-2073	195	石部中央三丁目9番20号	
22	いしへ交流センター	77-2972	-	54	石部西二丁目12番6号	
23	京進のようちえん HOPPA石部	77-4557	77-5849	182	宮の森一丁目1番1号	
24	石部中学校	77-3781	77-6802	662	宝家坂四丁目3番1号	
25	南山体育館	77-5400	77-5401	381	丸山二丁目1番1号	
26	南山第二体育館	77-5400	77-5401	225	丸山二丁目1番1号	
27	石部南小学校	77-2250	77-6722	535	丸山一丁目1番1号	
28	石部南まちづくりセンター	77-2535	77-2535	65	石部南三丁目5番1号	
29	阿波あかつき保育園	77-2950	77-2950	144	石部南五丁目1番1号	
30	じゅらくの里「福祉パーク館」	77-0041	77-0040	88	奥寺四丁目4番1号	
31	京進のようちえん HOPPA石部南	77-0007	77-0023	141	丸山一丁目1番2号	
32	石部高等学校	77-0311	77-0316	1,232	丸山二丁目3番1号	
33	菩提寺くじらこども園	74-1373	74-1373	182	菩提寺1113番地	石部南小学校区 (宮の森区、宝家坂区、石部南東区、東寺区、西寺丸山(区))
34	菩提寺小学校	74-1755	74-3678	649	菩提寺1583番地270	
35	菩提寺まちづくりセンター	74-3471	74-4005	200	菩提寺西四丁目2番12号	
36	菩提寺北小学校	74-3881	74-3883	485	菩提寺328番地	
37	菩提寺コミュニティセンター	74-0150	69-5240	65	菩提寺775番地1	
38	岩根会館	72-2292	72-2292	58	岩根中央一丁目18番地 ※3	
39	市民産業交流促進推進センター(ここぴあ)	72-5552	72-8310	42	岩根4528番地1	
40	岩根まちづくりセンター	72-7871	72-7872	139	岩根1155番地1	
41	岩根こども園	72-1389	72-1389	236	岩根2225番地	
42	岩根小学校	72-1500	72-1848	639	岩根3791番地	
43	甲西北中学校	72-2680	72-3862	744	正福寺28番地1	
44	下田まちづくりセンター	75-0011	75-4491	104	下田1515番地	下田小学校区(下田東区、下田西区、下田南区、下田北区、中山区、静ヶ丘区、大谷区、新緑区、堂の緑区)
45	下田小学校	75-0004	75-3766	521	下田2784番地	
46	下田こども園	75-2420	75-2420	147	下田2224番地	
47	日枝中学校	75-1158	75-1159	533	岩根499番地351	
48	水戸まちづくりセンター	75-3800	-	72	西崎町1番地	水戸小学校区 (湖高工業団地北區、湖高工業団地中區、湖高工業団地南區)
49	市民学芸交流センター(サンビルズ甲西)	75-8190	75-8192	299	西崎町1番地1	
50	水戸小学校	75-2640	75-2666	641	水戸町31番地1	
51	京進のようちえん HOPPA湖高水戸	75-0630	75-0630	140	梅影町2番地6	
52	水戸体育館	75-8190	75-8192	215	梅影町4番地2	
53	指定避難所 収容人数合計			15,131		

※1 甲西高等学校は、指定避難所施設として体育館を使用する。 ※2 甲西中学校は、指定避難所施設として体育館を使用する。 ※3 令和4年3月31日付で廃止

指定緊急避難場所(地震)

No	名称	電話 (0748)	所在地
1	三雲東小学校グラウンド	72-4616	三雲3100番地
2	三雲小学校グラウンド	72-0025	豊見1857番地
3	甲西中学校グラウンド	72-1138	針284番地
4	甲西高等学校グラウンド	72-3611	針1番地
5	石部小学校グラウンド	77-2030	石部中央二丁目3番1号
6	石部南小学校グラウンド	77-2250	丸山一丁目1番1号
7	石部中学校グラウンド	77-3781	宝家坂四丁目3番1号
8	石部高等学校グラウンド	77-0311	丸山二丁目3番1号
9	岩根小学校グラウンド	72-1500	岩根3791番地
10	甲西北中学校グラウンド	72-2680	正福寺28番地1
11	菩提寺小学校グラウンド	74-1755	菩提寺1583番地270
12	菩提寺北小学校グラウンド	74-3881	菩提寺328番地
13	下田小学校グラウンド	75-0004	下田2784番地
14	水戸小学校グラウンド	75-2640	水戸町31番地1
15	日枝中学校グラウンド	75-1158	岩根499番地351

指定緊急避難場所(風水害) ※印は、優先開設する施設の目安

No	名称	電話 (0748)	FAX (0748)	収容人数 (人)	所在地
1	○ 三雲まちづくりセンター	72-4532	71-2636	173	三雲1186番地
2	○ 甲西中学校	72-1138	72-3484	1,315	針284番地
3	○ 平松こども園	72-0390	72-0390	354	平松268番地
4	○ 石部コミュニティセンター	77-4559	77-4683	82	石部東七丁目6番1号
5	○ 石部小学校	77-2030	77-6733	803	石部中央二丁目3番1号
6	○ 石部保育園	77-2073	77-2073	292	石部中央三丁目9番20号
7	○ 京進のようちえん HOPPA石部	77-4557	77-5849	273	宮の森一丁目1番1号
8	○ 京進のようちえん HOPPA石部南	77-0007	77-0023	212	丸山一丁目1番2号
9	○ 石部南まちづくりセンター	77-2535	77-2535	98	石部南三丁目5番1号
10	○ じゅらくの里「福祉パーク館」	77-0041	77-0040	132	奥寺四丁目4番1号
11	○ 石部高等学校	77-0311	77-0316	1,849	丸山二丁目3番1号
12	岩根会館	72-2292	72-2292	87	岩根中央一丁目18番地 ※3
13	○ 菩提寺まちづくりセンター	74-3471	74-4005	300	菩提寺西四丁目2番12号
14	○ 菩提寺コミュニティセンター	74-0150	69-5240	98	菩提寺775番地1
15	○ 下田小学校(体育館)	75-0004	75-3766	310	下田2784番地
16	○ 下田こども園	75-2420	75-2420	221	下田2224番地
17	○ 市民学芸交流センター(サンビルズ甲西)	75-8190	75-8192	449	西崎町1番地1
18	○ 水戸小学校	75-2640	75-2666	647	水戸町31番地1
19	○ 水戸体育館	75-8190	75-8192	323	梅影町4番地2

●避難場所等の定義

名称	定義
指定避難所	災害に対して安全な小学校などを対象とし、地域の防災活動の拠点となり、被災者の当面の生活空間として活用する施設
指定緊急避難場所(地震時)	地震が発生し、または発生するおそれがある場合にその危険から逃れ、身の安全を確保できる場所
指定緊急避難場所(風水害時)	洪水や土砂災害が発生し、または発生するおそれがある場合にその危険から逃れるための避難場所として活用する施設
福祉避難所	介護の必要な高齢者や障がい者など専門的なサービスを必要とする人を受け入れるための福祉施設

◎ 避難場所等の定義 【防災マップP12】

○指定避難所

災害に対して安全な小学校などを対象とし、地域の防災活動の拠点となり、被災者の当面の生活空間として活用する施設

○指定緊急避難場所（地震時）

地震が発生し、または発生するおそれがある場合にその危険から逃れ、身の安全を確保できる場所

○指定緊急避難場所（風水害時）

洪水や土砂災害が発生し、または発生するおそれがある場合にその危険から逃れるための避難場所として活用する施設

○福祉避難所

介護の必要な高齢者や障がい者など専門的なサービスを必要とする人を受け入れるための福祉施設

◎ 訓練計画策定のポイント

地域で実施する訓練は、まず**自助が前提にある想定を忘れないこと**。自主防災組織の役割は絶対ではない。

○地震災害対応訓練 【防災マップP4】

- ・各家庭における初動対応後、地域での安否確認や救出救助といった流れ
- ・一時避難場所は近所の公園や広場

○風水害対応訓練 【防災マップP5 - P6】

- ・市の発信する避難情報を基に行動する。
- ・高齢者等で早めの避難が必要な方に地域の集会所を自主避難所として地域が開設し運営する。
⇒自主避難所の風水害リスクも確認
- ・自宅での**垂直避難**と避難所への**水平避難**を区別する。
⇒地域内においても災害リスクが違う

◎地域で実施してほしいこと

1. 各区における毎年の防災訓練の実施
2. 風水害（台風）の影響があるときの集会所などの自主避難所の開設と運営
3. 地区防災計画の策定
4. 防災無線子局の活用（区単独放送）

「訓練は失敗してこそ成功」

出来ないことや出来ることを発見して本番に備えましょう。



少しずつレベルアップしよう！ 防災訓練計画に係る事例発表・意見交換会 発表一覧

番号	団体名	訓練名称	災害種別	備考
1	桐松区(松風苑自治会)	初期消火訓練	火災	
2	近江台区(近江台区自治会)	黄色いタオル掛け&菩提寺7区情報伝達訓練	地震	
3	宝来坂区(宝来坂自治会)	「我が家は無事です！黄色いハンカチ作戦」 (宝来坂区総合防災訓練)	地震	
4	夏見区	我が家の防災診断	風水害	
5	岩根西区	防災訓練	地震	
6	ハイウェイサイドタウン区	湖南省防災訓練	地震	
7	三雲区	区民の安否確認	地震及び 風水害対策	
8	水戸学区(工業団地中区、北区、南区合同)	サイレンが鳴ったらご自宅玄関前に避難!!	地震	

訓練計画作成ワークショップ発表用フォーマット

区名(自治会名)	近江台区(近江台区自治会)
訓練名称	黄色いタオル掛け&菩提寺7区情報伝達訓練
災害想定 (地震・風水害)	地震
訓練対象	自治会役員+住民
訓練参加率	約160世帯の80%ほど
訓練のねらい	湖南市総合防災訓練にあわせ区での初動訓練を行うとともに菩提寺まちづくり協議会内7区の情報伝達訓練を同時に行う
訓練の流れ	【事前準備】 訓練の案内チラシを全戸配布(訓練の目的など)
	①8時の湖南市による防災無線を合図に近江台区防災チーム三役が防災チーム本部員を一時避難場所に招集(災害対策本部設置)
	②区長(防災チーム副代表)より防災無線で訓練開始をアナウンス
	③防災チーム代表より自治会班長に担当エリアの黄色いタオル掲示確認を指示
	④菩提寺7区災害対策本部(菩提寺まちづくり協議会)へ近江台区災害対策本部設置を無線にて報告
	⑤確認した黄色いタオルの掲示を班長から災害対策本部に報告
	⑥順次班長から報告のあった内容を住宅地図に落とし込み集計
	⑦タオル掛けの結果を菩提寺7区災害対策本部報告(各区共有)
	⑧訓練終了を菩提寺7区災害対策本部に報告
⑨反省会を行い終了	
訓練の効果	区民に有事の際に無駄を省くための黄色いタオル掛けという初動の意義を理解してもらう

訓練計画作成ワークショップ発表用フォーマット

区名(自治会名)	宝来坂区(宝来坂自治会)
訓練名称	「我が家は無事です! 黄色いハンカチ作戦」(宝来坂区総合防災訓練)
災害想定 (地震・風水害)	地震
訓練対象	自治会会員全世帯(430~440軒、年度により増減あり)
訓練参加率	83%(R5年) 87%(R4年) 86%(R3年) 89%(R2年) 留守宅含む
訓練のねらい	震度5強以上の地震が発生した場合、1~13班の正・副班長が班員宅を回り安否確認を行うよう従来より申し送りされている。 地震の際「被害がない・家族は無事」である場合ハンカチを掲げてもらい、正・副班長が効率よく班員の安否を確認できるとともに、救援の必要な世帯に人員や資材を集中的に投入することを目的とする。 
訓練の流れ	① AM8:00地震発生(市総合防災訓練時の防災行政無線サイレン) ② 家に居る家族が無事で救助や支援が必要ないことを想定して「黄色いハンカチ(我が家は無事です安否確認フラッグ)」を玄関や郵便ポストなど道路から見える場所に掲げる。 ③ 自治会1~13班正・副班長は自治会名簿(班名簿)により班全戸を見回り、「黄色いハンカチ」掲揚の有無をチェックリストに記録。 ④ 「黄色いハンカチ」の掲揚がない場合は個別に留守か在宅かの確認をし、在宅の場合は非掲揚の理由を確認する。 ⑤ 全戸のチェックリストを災害対策本部に持参し結果を報告する。
	宝来坂ふるさと防災HPでも紹介しています。 https://bousai.houraikaza.net 
訓練の効果	老若男女問わずコロナ過においても参画しやすい内容(家から出なくて済む)で、地域社会との協働(近隣の家と同じ行動をする)を通じて、防災への関心や意識付けを行うことができ一定の成果を上げている。 (※ 参加率は例年80%半ばだが、留守宅を除くと約90%)

訓練計画作成ワークショップ発表用フォーマット

区名（自治会名）	夏見区
訓練名称	我が家の防災診断
災害想定 （地震・風水害）	風水害
訓練対象	区内全世帯
訓練参加率	概ね80%
訓練のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ過において毎年実施していた全世帯対象の避難場所への参集訓練が実施できなかったことにより、参集しない訓練として実施したもの。 ・風水害における災害リスクは、各家の立地条件によって浸水深の違いや土砂災害の危険など違うことから、防災マップを確認して我が家のリスクを知ること適切な避難方法を認識することが目的。
訓練の流れ	<ol style="list-style-type: none"> ①区役員会にて、各町内に全世帯分のフローチャート式の診断書を配布 ②次回役員会で回収 ③結果を集計して区民へ周知
訓練の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅のリスク状況に応じた避難方法の習得。 ・特定日の一斉行動でないため、参加率が高かった。

訓練計画作成ワークショップ発表用フォーマット

区名（自治会名）	水戸学区（工業団地中区、北区、南区合同）
訓練名称	サイレンが鳴ったらご自宅玄関前に避難!!
災害想定 （地震・風水害）	地震
訓練対象	水戸小学校区内全域
訓練参加率	対象世帯は1447です、さて参加率は？
訓練のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の安否確認を目的とした、全戸参加型訓練。 ・各組代表、防災班長のチェックから報告までの動き。 ・情報伝達班、消火班、救急救護班、避難誘導班、避難所運営班それぞれの班の行動を確認しよう。
訓練の流れ	<ol style="list-style-type: none"> ①1か月前に「サイレンが鳴ったら玄関前に避難！」のチラシを全戸配布。 ②二週間前、情報伝達班、消火班、救急救護班、避難誘導班、避難所運営班の各班ごとの事前打ち合わせ。 ③一週間前、各組代表、防災班長を含めた防災会議にて当日の動きの確認。 ④訓練当日、サイレン吹鳴後玄関前避難の住民を各組代表、防災班長がチェックし一次避難場所へ報告に行く。 ⑤全組チェック用紙回収後、避難誘導班の指示のもと水戸小体育館へ移動。この際リヤカーや車イスも使用。 ⑥体育館では避難所開設訓練、AEDを使った救急救命講習やホースの使用指導などを行う。 ⑦今年は第3分団による「ポンプ操法」を披露して頂きました。
訓練の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・全住民へ災害の備えに対する意識付け。 ・各班、個人等の知識習得、スキル向上。